



大学生のキャリア形成支援の現場から

第5回 子の心親知らず②

本庄 麻美子

先月三連休の中日に、和歌山大学のオープンキャンパスが開催されました。受験生だけではなく保護者の皆さまにも多数ご参加いただき、例年以上に盛況でした。具体的な質問も多くいただき、卒業後の進路・就職状況は、大学選びのポイントとして注目度が高いと感じます。毎年、各メディアで、面倒見のいい大学、就職に強い大学といった特集が組まれることから、それが伺えます。

“面倒見がいい”ことは響き良いですが、果たして学生にとって真に良い環境かどうかは別の話。自立・自律を阻害する要因になり得るのではないかと私は思います。「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えよ」という格言があります。「魚を与えれば一時だけは食いつなぐことができるが、魚の獲り方を教えれば、その後ずっと食べることに困らない」という意味です。本来、大学は魚の釣り方を教える場所であり、失敗しても何度でも挑戦できるフィールドであるべきで、魚を与える場所になってはならないと考えます。

以前、保護者の方から「子どもの選択した進路に納得がいかないのです。先生、その選択肢はないと、

子どもを説得してもらえないでしょうか」とお願いされたことがありました。親にとって、子を大学まで進学させることは、子の幸せを願った将来への投資でもあります。その方としては、子が決めた進路が投資に見合わないと感じられたのでしょうか。しかし、キャリアカウンセリングにおいては、学生の「自己決定権を尊重」しています。すぐにその学生と会い、これまでの活動経緯と進路決定理由を聞きました。3社から内定をいただき、自分の価値観、長期的な視点を含め十分に検討した結果の選択で、非常に満足度の高い就職活動ができたというのです。「今までは、親の意向を優先に考えて行動してきました。でも、社会人となる今、これからは自分で自分のことを決めていきたいし、親にはそれを応援してほしい」とのことでした。魚を与えられるのではなく、自分で魚を獲り自分の力で生きていきたい、どこまでできるかやってみたい！という想いが伝わってきました。

子の心親知らず。無関心もよくないですが、過保護や過干渉で自立・自律の芽を摘むことは避けたいですね。(自戒の念を込めて！)

(ほんじょう・まみこ / 和歌山大学経済学部助教)

和歌山大学岸和田サテライト 社会人受講生(後期)募集

税理士になりたい

専門分野の知識を身につけたい

大人の教養を身につけたい

平日夜間、土曜日に浪切ホールにて開講

大学院科目等履修生募集科目(経済学研究科)
出願期間 8/22(月)～8/31(水)迄

学部開放授業受講者募集科目(教養科目)
聴講申請期間 8/23(火)～9/15(木)迄

- ◆ビジネスモデルデザイン特殊問題
- ◆連結会計特殊問題
- ◆消費税法特殊問題
- ◆租税法実務特殊問題

※詳細は募集要項をご覧ください
(下記までご請求ください)

◇データで地域を考える

課題発見と活動支援のためのデータ活用について学びます

【日時】10月8日・15日・22日・29日, 11月5日・12日・19日・
11月26日 (土曜:9時半～12時半)

◇英語で読む地域と景観

文化景観の概念について、英語の文献を購読しながら理解を深めます

【日時】11月26日, 12月10日・17日・24日, 1月7日・21日・28日
(土曜:13時～16時40分 初回のみ13時半～15時)

お問合せ先: 和歌山大学岸和田サテライト

〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F

TEL & FAX : 072-433-0875

岸和田サテライト 検索